

令和8年第7回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和8年6月15日（月） 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室

出席委員 教 育 長 岡 田 庄 二
委 員 小 栗 秀 子
委 員 樋 田 東 洋
委 員 村 松 訓 子

欠席委員 教育長職務代理者 西 尾 修 欣

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 伊 藤 政 之
事務局長 西 尾 功
教育総務課長 瀬 瀬 千 尋
教育総務課総務係長 志 津 博 光

日程第1 会議録署名者の決定
日程第2 会期の決定
日程第3 会議録の承認
日程第4 教育長の報告
日程第5 議事

議 事	案 件 名	結 果
議第37号	恵那市教育委員会会議等点検及び評価について	可 決

開 会（午後1時30分）

教育長 それでは、定刻になりましたので、令和8年第7回恵那市教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。
本日、西尾委員は欠席の連絡を受けておりますので、よろしくお願いいたします。

1 会議録署名者の決定

教育長 日程第1、会議録署名者の決定です。
小栗委員と樋田委員、よろしくお願いいたします。

2 会期の決定

教育長 日程第2、会期の決定。令和8年6月15日、1日間です。

3 会議録の承認

教育長 日程第3、会議録の承認です。

前回の会議録について、修正等がありましたらお願いします。

委員 ありません。

教育長 では、これで承認いたします。

4 教育長の報告

教育長 日程第4、教育長の報告です。

5月27日に教頭研修会がありました。子供も先生も少し緊張がほぐれて、今までと違った姿を見せることがあるので、よく見て声をかけてほしいという話を中心にしました。

それから、同日ですけれども、恵那南中学校で演技ワークショップがありました。私は直接見えなかったのですが、見た者の話を聞きますと、特に1年生で最初のうち少し落ち着かなかった面もあったのですけれども、終わる頃になると、やはり秦さんの話術などに引き込まれて、集中する姿が見えたということでした。短い時間ですけれども、変化する子供の姿があってよかったということ報告として受けています。

6月2日には、東濃地区教育推進協議会の総会がありました。これは東濃地区の主に校長先生方が出られて行う総会です。そこで現在、岐阜大学の客員教授をされてみえます早川三根夫先生が講演をされました。演題は、「学校経営専門職としての校長」ということで、校長の有り様についてお話をいただきました。なかなか踏み込んだ話などいろいろあったのですけれども、校長先生方にとっては本当に勉強になったのではないかと思います。

6月6日は、大井第二小学校の運動会に行ってきました。たまたま今年は割と涼しくて、時期的にはこの時期もいいと思いました。特徴的だったのは、準備体操が始まったのですが、朝のラジオ体操のような準備体操ではなくて、子供がAIを使って音楽を作成し、動きも子供たちで作ったものでした。子供たちが作ったリズム運動に近い感じですが、そうやって子供が参画するという運動会の一端を見させてもらいました。それから、もう一つはリレーです。これまで私が見てきた中では、リレーのバトンは直線のところで渡すものが多いと思うのですけれども、青戸慎司さんがかけっこ教室のときなどに「コーナーでバトンを渡すと、直線は走るだけになるので、すごく見応えがあるリレーになります」と言われたそうで、大井第二小学校では実際にそれをやってみたのですけれども、場所を変えるだけでこんなに違うのだということを感じました。あと、校長先生が2年目ということもあつたのですけど、個人名まで出るくらい子供のことをよく知ってみえて、さすがだと思いました。

6月8日は、恵那南中学校でソニー株式会社の元会長である平井一夫氏による講演会がありました。夢を持つことの大切さということを中心に話をしてくださいました。講演終了後には質問が途切れることなく続きました。

6月11日は、校長研修会がありました。このときには「管理職の専門性を高

めるとは」ということで、先ほどの東濃地区教育推進協議会総会のときの講演の内容と、平井一夫氏の本のことを話題にして話をさせていただきました。

6月13日は、少年の主張大会があり、7人の生徒が発表しました。講評でも話をしたのですけれども、やはり事前に原稿を読むのと、当日聞くのでは、受け止め方が大分違うということと、それから審査員が何を基準にして考えるかということ、自分の生活体験などが大きく左右するので、教員であった私と教員ではなかった方では視点も違ってくるので、やはりいろいろな人が審査員に加わるのが大切だと思いました。全体的には、もっと完成度を高めることができたのではないかということと、子供たちの体験や経験が年々乏しくなってくるというか、そういうところでトピックを考えて主張に持っていくので、やはり豊かな経験をさせてあげる場を作っていかないと、だんだん内容が豊かでなくなっていくということを話しました。併せて、やはり学校の代表として来ているので、学校でも1回ぐらいはみんなの前で話をすることができるといいと思いました。子供たちにとっては良い機会だったと思っているので、続いていくといいと思いました。

私からの報告は以上です。

5 議事

教育長 日程第5、議事に入ります。

本日の議案は1件です。それでは、議第37号恵那市教育委員会会議等点検及び評価について、事務局から説明をお願いします。

事務局長 議第37号恵那市教育委員会会議等の点検及び評価について説明。

教育長 大きく三つに分けて評価をしましたけれども、一つ一つのところでご質問と、評価についてのご意見をお伺いしたいと思います。

初めに、6ページの教育委員会会議の実施状況について、ご質問等ありましたらお願いします。

樋田委員 さまざまな施策や取組を一生懸命やっていただいて、成果を上げているというところが分かって、大変ありがたいと思いました。

定例会や協議会については、我々委員自身に関わる部分でもあるので、これは襟を正して行わなければいけないというふうに思っています。私はまだ1年生なのですが、やはり教育委員会制度の趣旨を踏まえながら、市民目線や保護者目線、地域目線など、その他のいろんな観点から舵取りをしていくことが求められているということだと思います。私個人で言うと、毎回、いろいろな資料を事前に頂いて、それを一生懸命読んで臨んでいるつもりですが、よく分からない部分もたくさんあります。その中で感じたのは、その施策や目標が何を生み出そうとしているのか、あるいはどういう状況を作り出そうとしているのかという点です。なぜその目標や表現が設定されているのかということを理解することが、一番大事なことではないかと感じました。事務局から説明を聞いた中で、計画や施策の狙いなど本質的な部分を理解できたことが多々あったので、それは大変ありがたかったです。今後、そういうことを事務局の方にもお願い

したいですし、私たちもそのことをきちんと理解しながら、そこを見ていかないといけないという反省を持っています。

教育長 ありがとうございます。ほかにご質問等がありましたらお願いします。

樋田委員 先ほど、恵那市教育委員会点検評価実施要領に基づいてという説明があったので、それは分かるのですが、今回出されている評価書の表題が「教育委員会会議等の点検及び評価書」となっています。要領には、「教育委員会の活動状況」と「事務事業の執行状況」に関することとうたっていますが、教育委員会会議が全面に出てきているので、何か意図があるのかと思いました。

教育総務課長

特に理由はないと思います。点検評価は年2回ありまして、1回目の今回は教育委員会の活動状況になります。そのメインとして教育委員会会議の実施状況があつて、主に事務局側になりますけれども、調査活動等の状況、そしてその他の事項になります。今回、その他の事項には主要施策の実施状況という形で少し見やすく整理しました。内容的には、各課の重点目標の中から主だったものを2つほど記載する形に変えております。樋田委員がおっしゃられた、今の「教育委員会会議等の点検及び評価書」というのは特に決まりがなく、前例主義で申し訳ないですけれども、これまでこういった言葉を使って議会に報告しており、その流れでこの言葉を使っているというだけで、特に意図したものはありません。

樋田委員 分かりました。これはいわゆる教育委員会の行政評価ですね。

教育総務課長

そうです。

樋田委員 教育委員会の会議の運営の仕方みたいなことが全面にある印象だったので、やはり本体部分をもっと評価する必要があると思います。

教育長 評価自体はしているのですが、題目ですね。

樋田委員 まず、題目です。「会議等」と言っても、「等」がメインになるのですよね。県の点検評価を見ても、教育委員会の会議の運営の仕方についても評価しているのですが少しだけです。そのほかは教育振興基本計画に沿ったものが膨大になっていて、ほかのところもそういう形になっています。

教育長 今年、この題目をこれから変えるというわけにはいかないですけど、県や他市も含めて、今年度研究していきたいと思います。ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

この「教育委員会会議の実施状況」について、事務局としては「C」評価としております。この「C」評価というのは、資料にありますように、目標どおりの実績というもので、必要な会議を滞りなく開催したということです。こちらは「C」評価でよろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

教育長 では、ここは「C」評価といたします。

続いて、16ページからの「調査活動等の状況」について、ご質問等がありましたらお願いします。よろしいですか。

事務局としては、「C」評価としておりますが、よろしいでしょうか。

委員
教育長 異議なし。
では、ここは「C」評価といたします。
続いて、17ページからの「その他の事項」について、ご質問等がありましたらお願いします。よろしいですか。
ここもやるべきことをやったと言えはそうなのですが、そんなにあることではない大きな事業を幾つか実施しましたので、「B」評価としておりますが、よろしいでしょうか。

委員
教育長 異議なし。
では、ここは「B」評価といたします。
事務局でも話題になったのですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中では、どんな項目を点検するかということは特に記載がなくて、教育委員会がそれぞれ決めるということです。現在の様式は、大まかに会議、活動、その他の項目としているので、その辺の項目をどうするのか、仕切りなども含めて、見直すときかなと思います。これまで様式の見直しはしたことがないので、協議会等でご意見をいただきながら整理していければと思います。ただ、やっていることをどういうふうに区分けするかということですので、ボリューム的なバランスというところもあると思うので、研究してまた提案させていただきますが、今年度はこの形でいきますのでよろしくお願いします。
次回の点検評価については、事務事業の執行状況に関する提案になりますので、よろしくお願いいたします。
それでは、議第37号恵那市教育委員会会議等点検及び評価については、先ほど提案したとおり、評価としては「C」「C」「B」ということでご異議はありませんか。

委員
教育長 異議なし。
ありがとうございます。議第37号は原案のとおり承認することに決定しました。
それでは、予定されていた議案が終了しましたので、これで令和8年第7回恵那市教育委員会定例会を閉じます。ありがとうございました。

午後2時05分閉会を宣言。

令和8年6月15日

教育委員 小栗 秀子

教育委員 樋田 東洋